

教育活動に関するアンケートのまとめ

日頃より本校教育活動にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。過日ご協力いただきました「教育活動に関するアンケート」の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。今回のアンケートの結果につきましては、今後の学校運営に生かし、より良い教育活動を推進していきたいと考えております。

◇ 評価の基準は以下の通りです。

A: 全くそう思う・適切である

B: ややそう思う・やや適切である

C: あまりそう思わない・やや不適切

D: 全くそう思わない・不適切



1 学校の重点目標に対する評価（A・Bの割合）

学校の重点目標「あったか言葉で伝え合い、自らよりよい答えを見つけることができる子供」 260名

	11月
お子さんは、人と話をする時に、相手の気持ちを考えて、あたたかい聴き方や優しい伝え方ができている。	85%
お子さんは、生活や学習の中で、自らよりよい答えを見つけることができている。	79%

2 協働型目標に対する評価（A・Bの割合）

協働型評価の重点目標「今だからこそ、自ら考えたプラス1であいさつを交わし合おう。」 260名

	11月
お子さんは、マスク着用でも、自ら工夫を考えて、挨拶ができている。	81%

3 自由記述より

【学校の重点目標について】

・友達から言われて傷ついたことや、自分が友達に言ったことを振り返りながら、反省をしているようです。まだチクチク言葉を使う子もいるようなので、学年全体であたたか言葉を使えるようになればと思います。

・自分が言われて嫌なことを言ってしまった時に、次の日にはどんな言葉を伝えれば良いだろうと、一緒に考える。

・強い言い方をしてしまった時は、自分だったらどう感じるかを考えさせるようにしています。

・いつも優しい気持ちの人と接すると自分も気持ちがいいね。と話しているので、気をつけているようです。

・同じクラスの子達。公園で出会った上級生の男の子の子女の子。下級生の子達。優しくもあたたかな声かけを見て、この活動が確かに実を結び子供達の土台になっているのだと知りました。

・学校では、友達とよく話をしたり、仲良くするように家で言い聞かせています。悪ふざけしているうちに夢中になり、相手に嫌な思いをさせてしまうこともありました。道徳の時間など増やしてはどうでしょうか。

【協働型目標について】

・協働型評価のプラス1、工夫して挨拶というのが理解出来なかったです。

・マスクの有無に限らず、あいさつが出来ていないようです。先生にあいさつをするときなどに、すれ違う時に目を合わせずあいさつするので、相手としっかり目を合わせて挨拶すること、会釈することなどを常に伝えています。

・マスクをしていると声がこもりやすかったり、表情がわかりにくかったりするので、大きな声ではきはきと挨拶するようにと声かけはしていました。

・マスク着用時は表情がわかりにくいため、声で表情を出そう！とお家のみんなとよく話をします。

・口元が見えないと、表情がわかりづらいので、目と目を合わせて挨拶するように心がけた。

・いちょう発表会以降、手話の合唱から、児童館で手話を覚えるのが一部流行しています。マスクをつけてだと顔の表情が見えにくいですが、手話だとやさしさや心の温かさをみていると感じます。

【その他】

- ・うちの子もそうですが、言葉づかいがあまり良くない子が多い気がします。
- ・先生の言葉やいじめに対する取り組み方を見直してほしい。
- ・色々な子がいるのは当たり前ですが、ログセや汚い言葉をすぐ子供はマネするので、親や先生方などで注意していかれたらと思います。
- ・下校中の友達同士の会話を聞いていると、荒い言い方が多く、言われた方はいじめと誤ってしてしまうのではと心配です。
- ・田子小学校独自の取り組みが子供達の意識や大人達の意識を変えていっているのだと感じます。男の子、女の子。上級生。下級生。関係なく声がけしてくれる姿に驚きました。
- ・思いやりを持った学校生活を送ることができるよう先生方のご指導が必要です。色々とお忙しいと思いますが、見放すことなく根気よく！！よろしくお願いいたします。

貴重なご意見を多数いただき、ありがとうございました。全てのご意見・ご提案を掲載することができず申し訳ありませんが、できる限り具体的な記述の部分に掲載させていただきました。協働型評価の重点目標「今だからこそ、自ら考えたプラス1であいさつを交わし合おう。」については、「プラス1」の捉え方が難しいとの声もありました。来年度は取り組みやすさを重視し、**学校の重点目標を「学校をあったか言葉でいっぱいにしよう」、協働型学校評価の目標を「気持ちの良いあいさつを交わし合おう！」**としたいと考えています。ご協力の程よろしくお願いいたします。

4 児童の自己評価（A・Bの割合）

381名

	11月
先生や友達の話の聴いたり、話したりする時に、相手のことを思いやっていますか。	90%
学校での生活や学習の中で、自分でよりよい方法や答えを見つけることができますか。	89%
マスクをしていても相手に伝わる挨拶を工夫できていますか。	85%

5 教職員による評価（A・Bの割合）

20名

	11月
児童は、人と話をする時に、相手の気持ちを考えて温かい聴き方や優しい伝え方ができている。	78%
児童は、学校での生活や学習の中で、自らよりよい方法や答えを見つけることができている。	61%
児童は、マスク着用でも、自ら工夫を考えて、挨拶を交わすことができている。	56%

3項目とも、教職員の評価は、保護者様と児童よりも下回っています。「あったか言葉」は、意識できる児童が確実に増えていますが、その時の感情に任せた言葉を発してしまう児童も多く見られるので、長期的・継続的な指導が必要だと考えています。今後も、日々の生活や授業等を通して、他者を意識したコミュニケーションや、マイナス言葉をあったか言葉に置き換えて発言することができるよう、指導・支援をしていきます。「よりよい方法や答えを見つける」については、児童自身に考えさせる時間を確保して、子供なりによい方法を見つけることができるように育てていきます。「挨拶」については、児童の地域や家庭での姿と、学校での姿に差を感じているところです。保護者様によるアンケート結果の抜粋からも、家庭内では子供たちに様々な働きかけをしていただいている様子がわかります。大変ありがたいです。それらの取組について学校でも参考にできないことがないか議論し、今後の指導・支援に生かしていきます。

6 児童（4～6年生）による行事の評価（A・Bの割合） A：とてもよかった B：まあまあよか 149名

	11月
今年度の体育発表会はどうでしたか。	89%
今年度のいちょう発表会（学習発表会）はどうでしたか。	94%
今年度のいちょう祭りはどうでしたか。	95%

この3年間、感染症防止対策が理由で内容や取り組み方を変更してきた行事でしたが、この3年間で子供たちによる評価も変わってきています。主要3行事についての評価はいずれも90%前後の児童が高評価でした。紙面の都合上、児童による記述内容をご紹介することができないので残念ですが、多くの児童が3行事に対して充実感や達成感をそれぞれの言葉で伝えてくれました。今後も、児童が成長できる工夫を一番に考えて、行事の計画をしていきます。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。



